

5 賃金・労働費用

第5-14表 規模間賃金格差（産業計）

Table 5-14: Wage gap by establishment size in all industries

		(1,000人以上=100)(1,000 empl. or more=100)					
国/Country		企業規模(人)/establishment size (employees)					
		計(5~)	5~29	30~99	100~499	500~999	1,000~
日本 (製造業/manufacturing)	JPN	63.8	51.2	61.9	75.6	86.1	100.0
		(69.0)	(50.2)	(56.8)	(74.4)	(86.6)	(100.0)
		1~9	10~49	50~249	250~499	500~999	1,000~
アメリカ (製造業/manufacturing)	USA	56.6	70.4	76.2	80.0	84.7	100.0
		(55.3)	(64.5)	(69.7)	(74.7)	(80.2)	(100.0)
イギリス	GBR	84.3	93.0	102.0	104.8	109.0	100.0
ドイツ	DEU	64.2	68.8	75.9	82.8	91.1	100.0
フランス	FRA	—	85.2	89.4	96.8	98.4	100.0
イタリア	ITA	—	72.5	83.3	89.5	96.7	100.0
スウェーデン	SWE	—	100.6	102.8	106.7	104.7	100.0

資料出所 日本:厚生労働省(2011.2)「平成22年毎月勤労統計調査確報」

アメリカ:U.S. Census Bureau(2010.11) 2007 Economic Census

その他:EU(2010.11) Structure of Earnings Statistics 2006

(注) 1) 規模区分は日本とアメリカは事業所規模で、EUは企業規模。

2) 日本は常用労働者の現金給与総額(total cash earnings), EU各国は月間平均賃金総額(mean monthly earnings), アメリカは年間給与総額(annual payroll)を雇用者数で除したも
のからそれぞれ指数を作成。

3) 日本の産業計は、調査産業計(非農林漁業)。アメリカの産業計の値は、入手可能な産業
(鉱業, 原油・ガス・天然資源, 建設業, 製造業)の数値を集計して作成。

4) 日本は2010年, アメリカは2007年, その他は2006年の数値。

第5-15表 所得のジニ係数

Table 5-15: Gini coefficients of income inequality

国 Country		1990年代半ば Mid-1990s	2000年 2000	2000年代半ば Mid-2000s
日本	JPN	0.3235	0.3367	0.3205
アメリカ	USA	0.3614	0.3567	0.3814
イギリス	GBR	0.3540	0.3700	0.3350
ドイツ	DEU	0.2722	0.2698	0.2981
フランス	FRA	0.2700	0.2700	0.2700
イタリア	ITA	0.3479	0.3432	0.3519
スウェーデン	SWE	0.2113	0.2426	0.2341
オーストラリア	AUS	0.3091	0.3172	0.3011

資料出所 OECD(2008.10) Growing Unequal? Income Distribution and Poverty in OECD Countries

(参考)

		2000	2005	2006	2007	2008	2009年/Year
日本	JPN	0.3997	0.3948	0.3981	0.3949	0.4041	0.3950

資料出所 厚生労働省(2011.7)「平成22年国民生活基礎調査」

(注) ジニ係数とは、所得分配の不平等度を表す指標である。ジニ係数が0に近づけば平等に近づき、1に近づけば不平等の度合が増す。